

高倉通信

平川市
東奥日報
尾上販売店
第113号

東奥日報
朝日経済
読売日本
スポーツ新聞各種

2015 平川市民文化祭

「つくりだそう子どもも大人もゆめもって」をテーマに11月1日から29日まで行われた市民文化祭。



陶芸体験コーナー

「子どもの祭典」で幕を開け、企画展や文化講演会「Mrマサツクのマジカル科学」、作品展示、最後は舞台発表まで、その間大勢のみなさんが来場

されました。

また、陶芸やフラワーアレンジメント等さまざまな体験コーナーが設けられ、文化祭を盛り上げました。

この人に

インタビュー

工藤キヌエさん

友人に誘われ、12年程前に「くろまつ文学会」に入会した工藤キヌエさん（猿賀）は、毎月の例会に出品する短歌・俳句・川柳を、いろいろな生活の場面で考え、その都度書き留めているそうです。また、以前から東奥日報夕刊の世相川柳に投稿してきて、NHKのお国ことばで川柳にも選ばれるなど、数々の大会に応募し、賞をいただいています。

「賞に入ることより、作品を考え提出するのが楽しい。ほけ防止にもなっていますよ。」とおっしゃる工藤さんは、さまざまなボランティア活動にも積極的に参加し、多くの人との出会いに感謝しているとの事でした。



くろまつ文学会では会員募集中です
連絡先 57-3590 (成田) まで

すてきに輝いて 森内りんご園

金屋にある森内りんご園（代表 森内優加利さん）

ん）では、りんごを生産する傍ら、ジャムやセミドライりんご等を製作販売しています。

昨年、専門家が加工技術や販売ノウハウを助言する県の事業「ABC相談会」に参加し、県と市の助成事業を活用して、サンふじを使ったバナラピーンズやシナモン入りのジャムなどを商品化。製造は工場に委託しているとの事ですが、健康を意識しながらの開発には試行錯誤を重ねたそうです。

それまで東京で編集者として活躍していた森内さんは、4年程前に帰省。もともと興味があった農



もてなしロマン館やアップルランドで販売しています

業の仕事に、祖母・母と3人で従事しています。地元とりんごを愛し、今後も自然のサイクルと上手に付き合いつながり続けたいとの事でした。

ひらかわ農産物 地産地消拡大フェア



行列が出来る程のにぎわい

11月22日、平川市健康センター駐車場で行われた、平川市認定農業者連絡協議会主催のフェアでは、広船産りんごや、平川市産つがるロマン、その他の農産物が並べられました。また、青天の霹靂や地産地消豚汁が無料で振るまわれ、多くの皆さんが訪れていました。